

主な出来事

【内政】

- 20日、アンゴラに出入国するすべての商用航空便、専用航空便等が停止。
- 25日、緊急事態宣言が発表（3月27日から15日間、その後4月25日まで延長）。
- 27日、ヴェラ・ダヴェス財務大臣は、2020年予算を大幅に修正する旨発表。
- 同時に、省庁再編を発表（28から21に）。

【外交】

- 10日、草の根無償協力署名式（地雷撤去支援や学校建設支援等合計約151万ドル）。
- 23日、ルトウクタ保健大臣はキューバの医師団がアンゴラで医療支援を開始と発表。
- 25日、アリババ基金より支援物資が届く（マスク、PCR検査機、防護服等）。

【経済】

- OPECプラスにおける協調減産合意が決裂、油価が20米ドル以上下落。
- 25日、BNIは、個人の顧客を対象に3～4月分のクレジットローンの返済を猶予と発表。
- カトカ鉱山会社は、緊急事態宣言を受け一部労働者を解雇、新鉱区の作業を停止。

内政

1. COVID-19 関連措置

(1) 3月18日以降、中国、韓国、イラン、イタリアに加え、ポルトガル、スペイン及びフランスから帰国するアンゴラ人及び居住者並びに COVID-19 感染者と接触があった者に対し、14日間の検疫義務が課された[\(AP 3/18\)](#)。

(2) 3月20日0時00分以降、アンゴラに出入国するすべての商用航空便、専用航空便等が15日間停止となった[\(AP 3/18\)](#)。

(3) 3月21日、アンゴラにおいて初の COVID-19 感染者2名が確認された。シルビア・ルトウクタ保健大臣は記者会見を開き、感染者2名が3月17～18日にポルトガルから帰国した36歳男性及び38歳男性であると報告した[\(NJ 3/21\)](#)。

(4) 3月25日、ロウレンソ大統領は緊急事態宣言を発表した。2020年3月27日0時から2020年4月

11日23時59分までの15日間、外出や公共・商業サービスなどが制限された[\(JA 3/26\)](#)。

(5) 3月31日時点における国内感染者は7名（うち2名死亡）[\(AP 3/31\)](#)。

2. 自宅隔離措置をめぐる波紋

(1) 3月19日、エウジェニオ・ラボリーニョ内務大臣はポルトガルから帰国した彼自身の娘の自宅隔離を特別許可した。これを受けロウレンソ大統領は同大臣を COVID-19 対策本部委員会補佐から退かせるとともに、委員長であったシルビア・ルトウクタ保健大臣を解任、新たにペドロ・セバスチャン大統領府武官長を委員長に任命した[\(3/23 VOA\)](#)。

(2) 3月18日、ポルトガルからルアンダに到着した数百人の搭乗客は、14日間の指定施設における検疫義務を課されることなく、自宅隔離措置となった[\(NJ 3/18\)](#)。

(3) 3月23日、保健大臣より3人目の新規感染者の発表がされた後、ルアンダ市民はポルトガルからの帰国者による指定検疫所での隔離義務の不履行等に対し、デモ活動を行った(3/23 AP)。

3. ルアンダ州政府による COVID-19 対策

(1) ルアンダ州政府は、緊急事態宣言による外出制限にともない、ベラス市及びヴィアナ市において路上生活者(ストリートチルドレン含む)を一時的に受け入れるシェルターを設立した(NJ 3/31)。

(2) ルアンダ州政府は Multiparques 社の協力の下、市場や一部困窮地区を対象に飲料水の配給を行った。同社によると、今後他の州でも同様の支援が実施される予定である(AP 3/28)。

4. 2020 年予算の修正

(1) 3月27日、ヴェラ・ダヴェス財務大臣は、COVID-19 感染拡大と油価の急激な下落に対応するため、大幅に2020年予算を修正することを発表した。これに伴い、当初設定されていた油価が55米ドル/バレルから35米ドル/バレル以下に変更される。また、ダイヤモンド価格は162米ドル/カラットから100.3米ドル/カラットに変更される。修正案は5月15日までに国会に提出される予定(JA 3/27)。

(2) COVID-19 対策のためにソブリンファンドから約15億米ドルが配分される。本支出は地方自治体連携統合計画(PIIM)実施のための資金には影響はなく、国営企業の民営化促進等を通して実現される見込み(JA 3/27)。

5. 省庁再編、公共セクターの支出管理

2020年予算の修正にともない、28省庁が21省庁まで削減(7省減)される省庁再編案が承認された。また、行政機関において職員の出張が制限されるとともに、新たな車両や不動産の取得が停止された(JA 3/27)。

6. 閣僚交代

(1) 3月16日、ジェズス・ファリア・マイアット行政労働社会保障大臣及びアナ・パウラ・ツァヴァンジェ・エリアス教育大臣が罷免され、新大臣にそれぞれテレーザ・ロドリゲス・ディアス及びルイーザ・マリア・アルヴェス・グリロが任命された(JA 3/17)。

(2) 3月17日、ジョフレ・ヴァンドゥーネン・ジュニオル商務大臣が罷免され、新大臣にビクトル・フランシスコ・ドス・サントスが任命された(JA 3/17)。

7. 社会保護強化プログラムの承認

3月27日、ロペス・パウロ経済問題担当大統領府顧問は2020年5月にパイロット事業が開始する現金給付プログラムにより、2022年までに約160万8,000世帯の貧困削減が見込まれていると発表した。世銀による3億2,000米ドルの融資により、貧困層向けに一世帯あたり月8,500クワンザが一定期間給付される予定(当館注:4月に入り、COVID-19の影響を受けやすい高齢者、HIV感染者、エイズ患者、その他疾患を持つ人等を支援対象者に含めることが検討されている)(JA 3/30)。

8. ウイラ州における干ばつ対策

ウイラ州政府は、長期化する干ばつの影響を受けた世帯に対し、メイズやミレットの種子を配給した。同州で干ばつの影響を受けた世帯は3万3,736軒に上る(JA 3/12)。

外交

1. 海外からの COVID-19 対策支援

(1) 中国政府から1万件、WHOから5千件のPCR検査薬がアンゴラ政府に提供された(JA 3/24)。

(2) 3月23日、シルビア・ルトウクタ保健大臣はキューバの医師団がアンゴラでのCOVID-19対策支援を開始すると発表した(OBS 3/24)。

2. 中国からの COVID-19 対策支援

(1) 3月25日、アリババ基金より10万枚のマスク、2万件分のPCR検査薬、1千着の防護服等の支援物資が届いた(JA 3/25)。

(2) 中国企業CR20社は、ウアンボ州にある病院のリハビリ支援(電力システムの復旧等)を実施した。同病院は、新型コロナウイルス感染症の検疫所として利用される予定(JA 3/28)。

(3) 3月24日、駐アンゴラ中国大使はジョルナル・デ・アンゴラ紙に寄稿し、「一緒に健康なコミュニティを構築しよう」、「中国は「一人は皆のた

めに、皆は一人のために」という国際的なモラルを信じている」などと呼びかけた[\(JA 3/24\)](#)。

3. アンゴラ・ザンビア関係

2月28日、アンゴラとザンビアは電力セクターに関する協力協定を締結した。同協定により、アンゴラ側のザンビアとの国境に電力が供給される[\(JA 3/2\)](#)。

4. 日本政府による草の根無償協力

3月10日、駐アンゴラ日本国大使公邸にて草の根無償協力に関する署名式が開催され、モシコ州、クアンザ・スル州、クアンザ・ノルテ州で地雷撤去活動を実施するNGO 3団体、及び、ルアンダ市キランバ・キアシ地区において小学校建設事業を実施するNGOに対し、合計150万9,625米ドルが寄付された[\(AP 3/10\)](#)。

5. 赤道ギニアとの石油関連協力

3月9日、ジョゼ・バローゾ石油担当副大臣はカウンターパートである赤道ギニアの鉱山・炭化水素副大臣と会談し、アンゴラが炭化水素関連の職業訓練、生産、市場開拓等において赤道ギニアと協力していくことに同意した[\(AP 3/11\)](#)。

6. アルジェリアとの経済協力関係の促進

3月13日、ロウレンソ大統領は駐アンゴラ／アルジェリア大使と会談し、両国の経済協力関係を促進することを確認した。両国は経済協力協定の締結に向け、新たな経済協力部門を模索している。同大使は、今回の会談では、農業、漁業、職業訓練等に関して話し合う意向を示した[\(AP 3/12\)](#)。

7. 駐アンゴラ／ポルトガル大使の交代

3月12日、ペドロ・ペソア・イ・コスタ／ポルトガル新任大使がルアンダに到着し、記者会見においてアンゴラ・ポルトガル関係の潜在性を強調した[\(A024 3/12\)](#)。

8. チャド政府が牛で債務を返済

(1) アンゴラ政府は、チャド政府が対アンゴラ債務約1億米ドルを牛7万5千頭で支払うことに同意した。今後10年に渡り牛での返済が行われる予定。3月15日には、チャドから最初の1千頭が到着した[\(VOA 3/17\)](#)。

(2) アンゴラ政府はチャドからの牛をクアンザ・

ノルテ、ウイジェ、マランジェの3州にまたがるカマバテラ高原における畜産業の振興に活用する予定。同事業によりカマバテラ高原を2025年までに牛肉の生産地として確立することを目指している[\(AN 3/15\)](#)。

9. アンゴラ・ギニアビサウ関係

ウマロ・シソコ・エンバロ／ギニアビサウ大統領は、ロウレンソ大統領によるドス・サントス元大統領一家に対する汚職対策等について言及し、ロウレンソ大統領を批判した[\(VOA 3/16\)](#)。

10. ロウレンソ大統領のナミビア訪問

3月21日、ロウレンソ大統領はウィントフックで開催された独立30周年式典に出席し、ハーゲ・ガインゴブ大統領の再選を祝福するとともに、独立戦争時から続く両国の結束を再確認した[\(JA 3/21\)](#)。

11. EUによるコーヒーのバリューチェーン開発

3月11日、トマス・ウリクニ駐アンゴラEU大使は、アンゴラ産コーヒーのバリューチェーンを構築するためにEUが1,200万ユーロを資金援助すると発表した[\(OBS 3/11\)](#)。

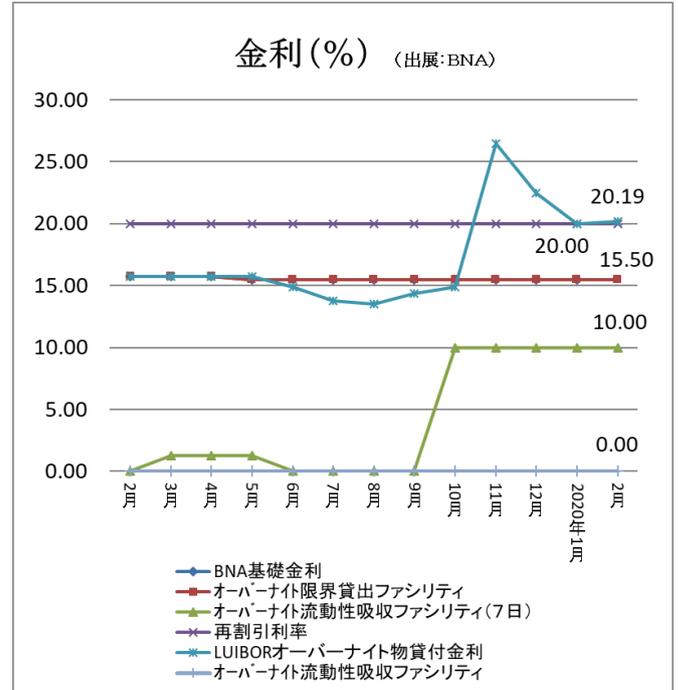
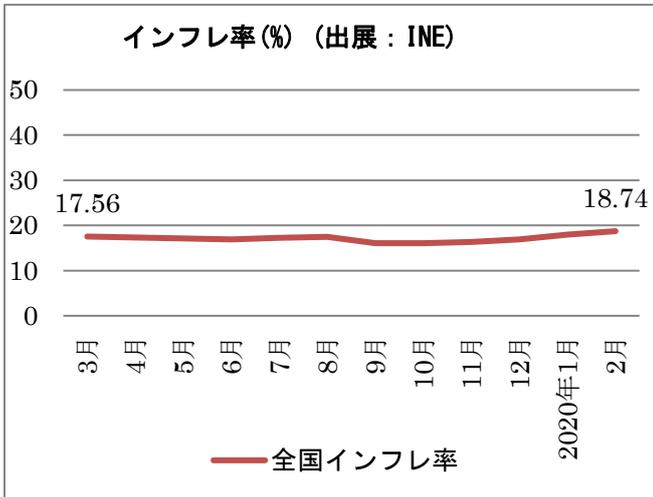
経済

1. 主要経済指標

(1) 物価

国家統計院(INE)が発表したアンゴラ全国版の2月期年間インフレ率は、18.74%。月間物価上昇率は1.72%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(0.97%)、衣類(0.11%)、家具、家財、メンテナンス(0.11%)、モノ・サービス(0.10%)。



(2) 金利

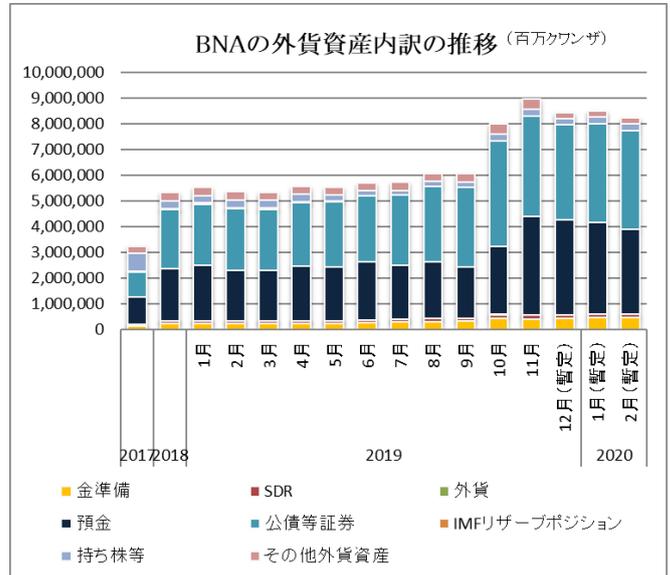
3月27日に金融政策委員会 (CPM) が開催された。主な決定事項は以下の通り。

- ア 基準金利及び政策金利を15.50%で維持
- イ オーバーナイト流動性吸収ファシリティを0%で維持し、流動性吸収ファシリティ (7日) を10%から7%に減少
- ウ クワンザ建ての銀行口座における最低預金額高を22%で維持。外貨に関しては15%で維持。
- エ 非金融企業が保有する公共証券取得のために最大1,000億クワンザの流動性枠を確保
- オ 「生産・輸出多様化・輸出代替に関する支援プログラム (PRODESI)」 関連の輸出商品54品目への融資の拡大
- カ 4月1日以降に石油企業やガス企業と外貨の売買を行う際は、ブルームバーグが提供するプラットフォームを活用

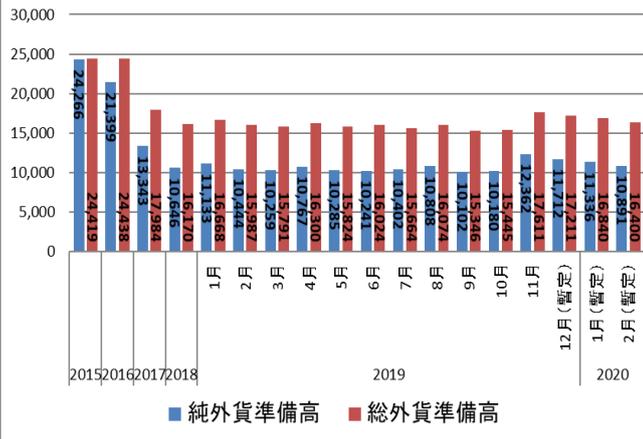
(3) 為替市場

3月31日、為替相場は 1USD=536.61961 AKZ で推移。

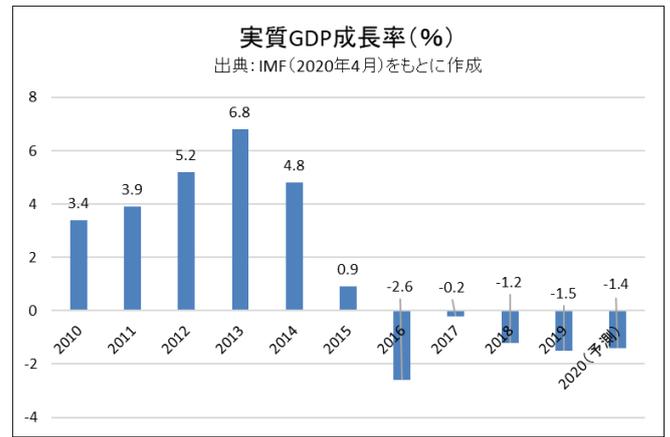
(4) BNA 発表の外貨準備高統計



外貨準備高の推移(百万米ドル) 出展:BNA

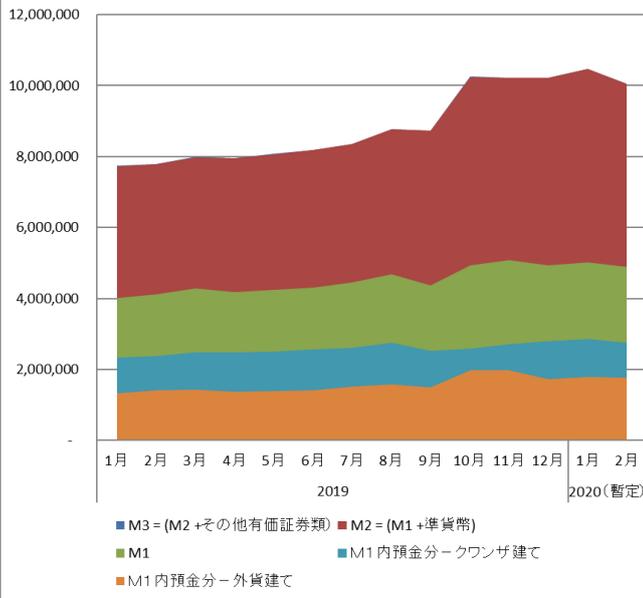


(6) GDP及び成長率



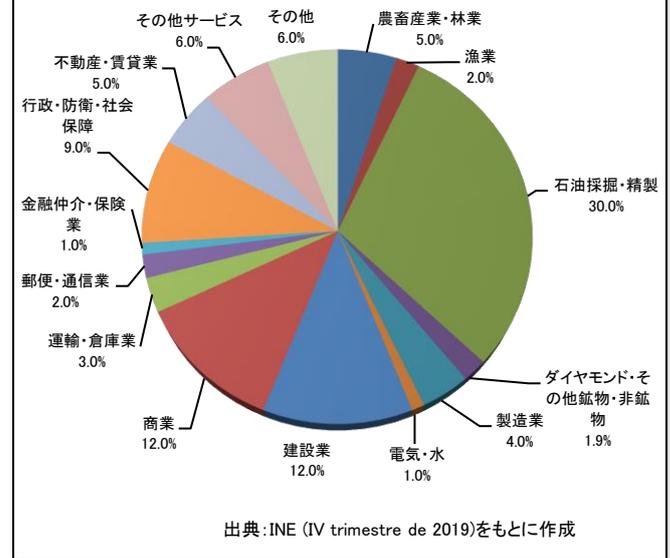
(5) マネーサプライ統計

マネーサプライ統計 (百万クワンザ) (出展:BNA)

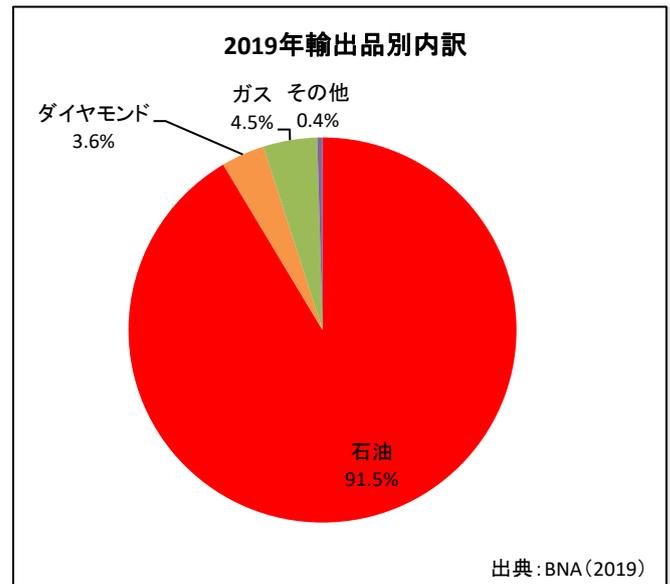


2019年	2020年		百万クワンザ
12月	1月(暫定)	2月(暫定)	
10,219,109	10,469,416	10,055,297	M3 = (M2 + その他有価証券類)
10,214,363	10,464,602	10,050,420	M2 = (M1 + 準貨幣)
4,939,359	5,024,461	4,885,334	M1
418,992	367,999	358,818	M1内現金等流通分
4,520,367	4,656,461	4,526,516	M1内預金分
2,787,399	2,865,136	2,752,028	M1内預金分-クワンザ建て
1,732,968	1,791,325	1,774,488	M1内預金分-外貨建て

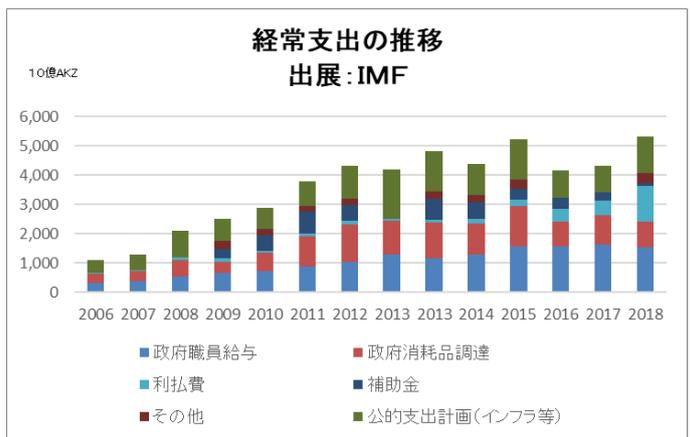
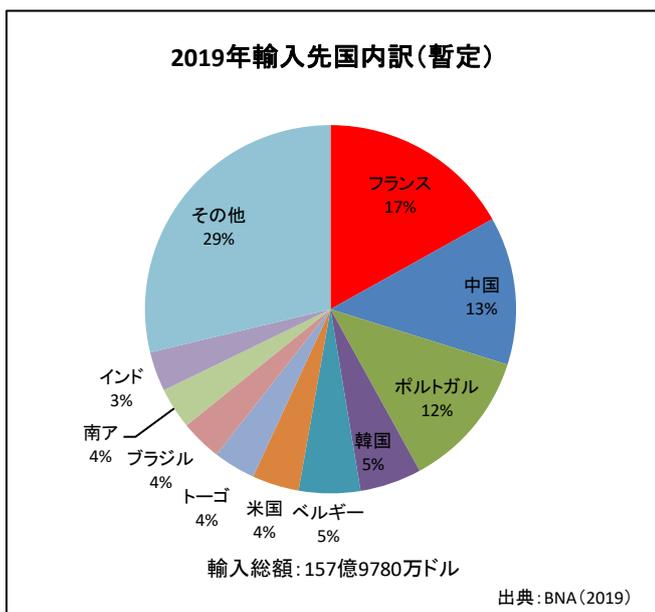
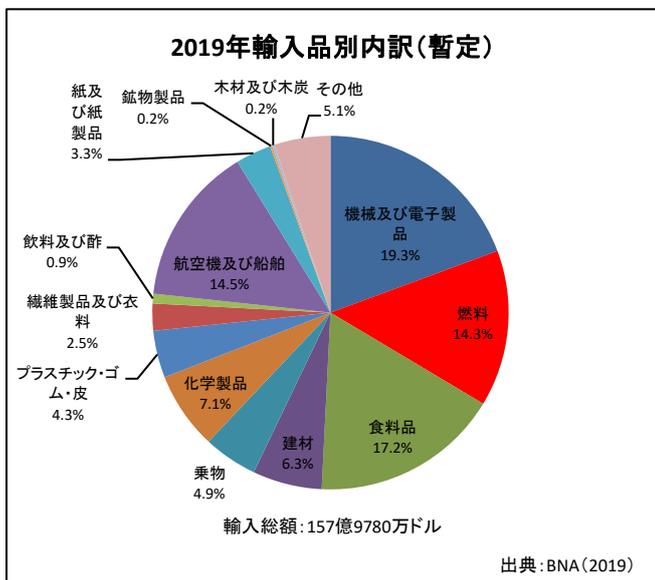
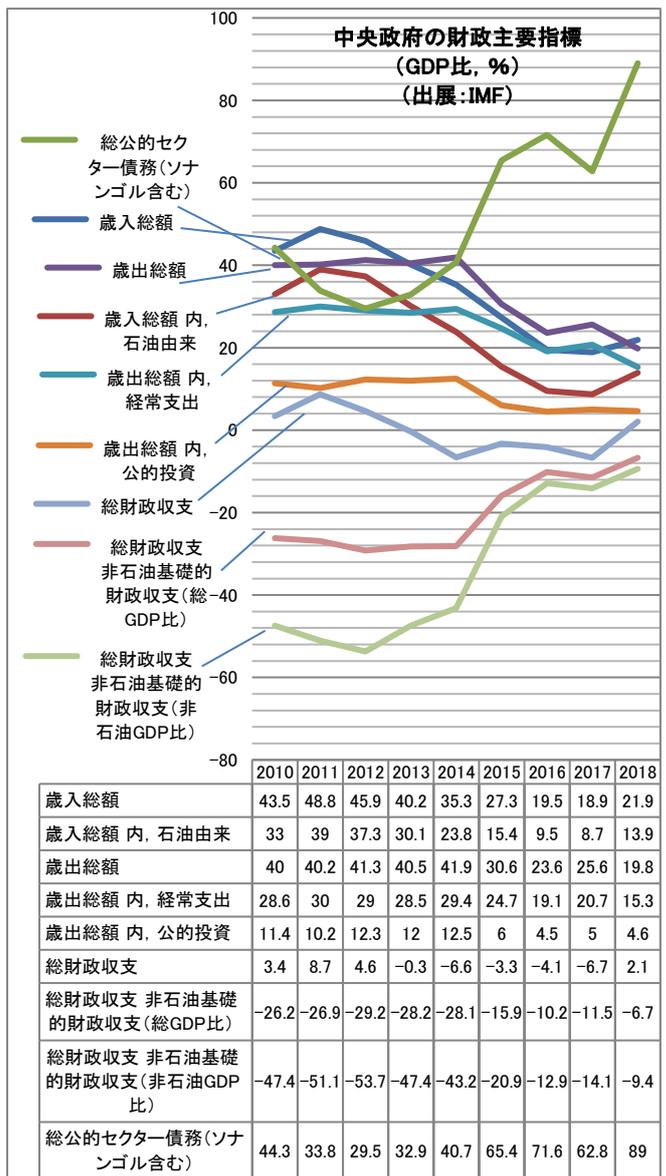
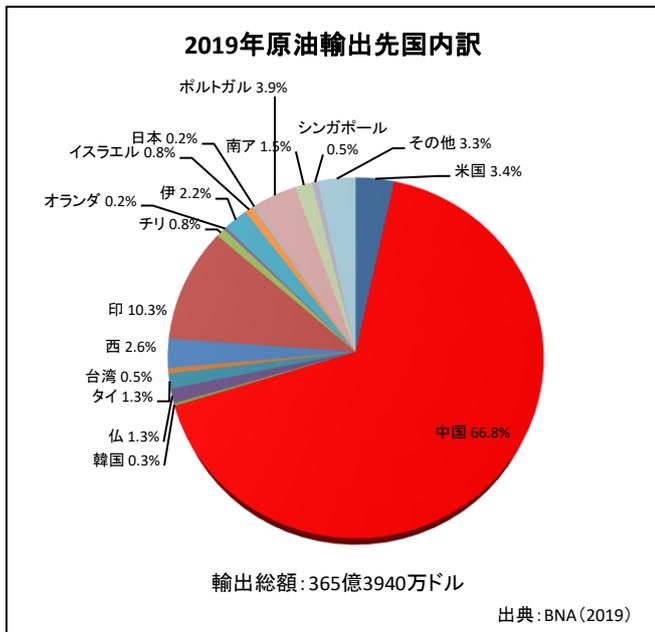
2019年 アンゴラGDP構造(%)

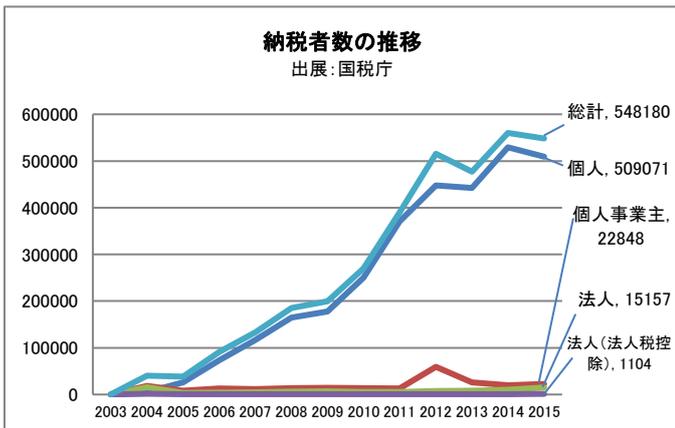
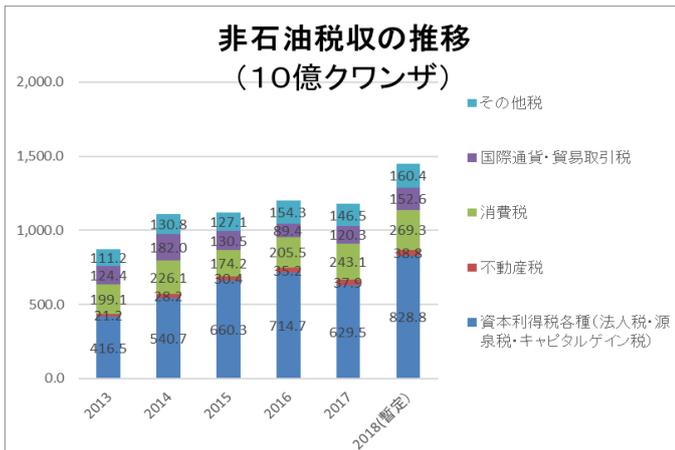
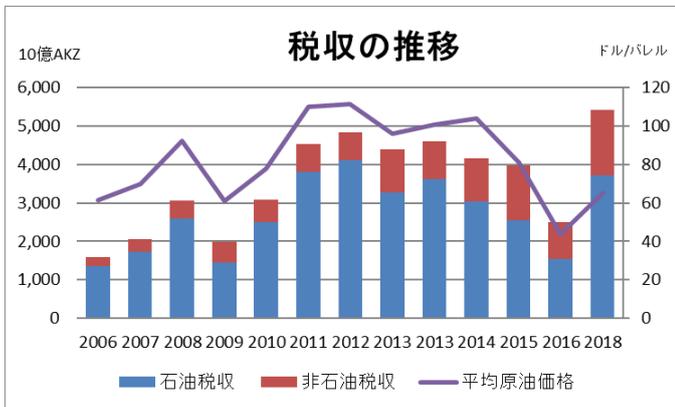


(7) 主要貿易統計



(8) 財政主要統計





2. 付加価値税

1~2月中の付加価値税による税収は1,140億クワンザであり、還付合計金額は26億クワンザであった(AP 3/16)。

3. 石油関連

(1) 2020年2月中に石油関連企業は商業銀行に合計約2億7,900米ドルを売却した。取引件数は90件であり、平均為替相場は1USD=504.604AKZであった(AN 3/9)。

(2) OPECプラスにおける協調減産合意の決裂の結果、油価は2020年予算で設定されていた55米

ドルから20米ドル以上下落し、アンゴラ経済に多大な影響をもたらしている。アンゴラは債務の返済を滞納する可能性がある(NA 3/11)。

(3) ソナンゴルは44周年記念式典の記者会見において、同社が2019年を通し、燃料費の補助金のために約14億米ドル(燃料費補助金負担額全体の約60%)を負担したと言及した(EX 3/9)。

(4) ソヨ市における石油精製所の建設事業に関し、3月31日まで延期されていた落札者の発表が緊急事態宣言により再度延期された。発表日は未定(JA 3/31)。

4. ダイヤモンド関連

(1) 3月3日、鉱物資源・石油省はダイヤモンド原石鑑定士の公募を開始した。個人、法人を問わず国際市場価格に基づき査定を行う専門家3者を選出する(JA 3/3)。

(2) カトカ鉱山会社は、緊急事態宣言を受け一部労働者を解雇するとともに、新たに利権を獲得した鉱区における作業を停止した。同社はアンゴラで国内生産量の70%以上のダイヤモンドを生産する主要企業である(NJ 3/31)。

5. 金融機関によるCOVID-19対策

(1) 3月25日、BNI(Banco de Negócios Internacional)は、個人の顧客を対象に3~4月分のクレジットローンの返済を猶予すると発表した(3/26 JA)。

(2) BFA(Banco de Fomento Angola)は、バイオセキュリティ機材の購入等に500万米ドルを割当した(3/23 AP)。

6. マスコミ省とファーウェイ社の協力事業

3月4日、アルビノ/マスココミュニケーション大臣はファーウェイのアンゴラ副代表と会談し、職業訓練や幼児向け公共メディアプログラム等の分野における協力を強化していきたいと述べた(AP 3/6)。

7. 中国企業による経済特区(ZEE)への新規参入

3月16日、中国企業のHengye Electronics Industry社は、ルアンダ州ベンゴ地区の経済特区(ZEE)に電気メーターと水道メーターの工場を設立すると発表した(AP 3/19)。

8. 中国製車体の購入

3月19日、ルアンダ鉄道は、ルアンダ州ブンゴ・ヴィアナ州バイア間での運行に用いられる中国製の車体を新たに4台受け取った。これにより1日最大700名の乗客を時速80kmで輸送することが可能となる([AN 3/19](#))。

9. 漁業部門における中国との協力

クアンザ・スル漁業協会(Sociedade de Pescas do Cuanza Sul (Sopesul))は船舶の輸入費用を削減するため、中国のカウンターパート(当館注:特定されていない)と協力し、当地での木船の生産を増加させる予定。同事業のために約500万米ドルが投資される([MH 3/27](#))。

10. 繊維工場民営化公聴会の開始

政府資産・参画管理院(IGAPE)のイニシアチブにより、3月18日、ルアンダ州、クアンザ・ノルテ州、ベンゲラ州における繊維工場の公聴会が開始([JA 3/10](#))。

11. ビール企業の政府保有株式の売却

3月3日、ロウレンソ大統領は、アンゴラ産ビールの主要銘柄であるクカ、エカ、ンゴラの政府保有株式を一部売却することを承認した([AN 3/12](#))。

12. 自由貿易区の新設

3月27日、セルジオ・サントス経済企画大臣は、アンゴラ政府が自由貿易区(フリーゾーン)の新設を準備していると発表した。参入企業向けに税金、為替取引、融資、雇用、移住関連のインセンティブを設ける予定([AP 3/30](#))。

13. 電気供給のためアフリカ開発銀行から資金調達

アンゴラ政府は、アンゴラ中南部の電力セクターを改革するため、アフリカ開発銀行から約5億米ドルの資金を調達すると発表した。本事業により、343 kmの送電線の敷設や電気メーターの設置等が実施される予定([AP 3/9](#))。

JA: Jornal de Angola, EX: Expansão, MH: Macau Hub, DN: Diario de Noticias, NJ: Novo Jornal, VOA: Voice of America, CK: Club-K, AA: All Africa, AN: Anjo Notícias, OBS: Observador, AP: Angop, A024: Angola 24 horas, FT: Financial Times, PA: Portal de Angola, EIU: Economist Intelligence Unit, ME: Mercado, VE: Valor Económico, OP: O País, DV: Dinheiro Vivo, VG: Vanguarda, DW: Deutsche Welle